

当院小児科外来でアデノウイルス感染症あるいは溶連菌感染症と診断されたお子さまと保護者さま

当科外来を受診してアデノウイルス感染症あるいは溶連菌感染症と診断されたお子さまを対象に、

臨床研究を実施いたしますのでお知らせいたします。

1. 研究の意義と目的

新型コロナウイルス感染対策が緩和された2023年、栃木県内では小児のアデノウイルス感染症やA群溶

血連鎖球菌（溶連菌）感染症が流行し、発熱や風邪症状で当科を受診されるお子さまのなかには、

ウイルス抗原検査でアデノウイルスや溶連菌の感染症、あるいは、双方の感染症と診断されるお子さま

が増えました。アデノウイルスや溶連菌の単独感染の場合は、それぞれの経過や治療方針について統一

された見解があり、医療者が経過観察や治療方針に悩むことは少ないですが、重複感染の場合、既知の

情報が少ないことからどのような経過になるか、どのような対応が有効か判断に迷うことがありました。

そこで、今回、アデノウイルスと溶連菌と診断されたお子さまの臨床症状や経過、治療反応に、病原

ウイルスや単独・重複感染によって違いが生じるかを検討することといたしました。違いが認められる

ようであれば、今後、それぞれの感染と診断されるお子さまに、より正確な予後予測や治療提案が

できると考えております。

2. 研究の方法

2023年5月1日から2023年12月31日の間に、当科外来を受診されたお子さまのうち、ウイルス抗原

検査でアデノウイルス感染症あるいは溶連菌感染症と診断されたお子さまの診療録から、IDや生年

月日、性別、病歴、経過、ウイルス抗原、処方薬に関する情報を抽出し、匿名化して統計処理を行

います。

3. 個人情報の保護について

この研究を実施するにあたり、お子さまの診療録より得た情報から、住所や名前等が削られ、お子さま個人が特定できないように符合をつける「匿名化」を行い、残りの情報は鍵のかかるキャビネットに保管いたします。お子さまとこの符号とを結びつける対応表は、研究責任者が鍵のかかる別のキャビネットに保管することにより、お子さま個人の情報を管理します。これを連結可能匿名化といいます。こうすることにより、診療情報の解析を行う研究者には、誰の診療情報を解析しているのか分かりません。また、お子さま個人を特定する情報が公開されることはありません。調査対象となるお子さまお一人お一人へのご説明は致しませんが、お子さまの情報をこの研究に用いられたくないとお考えの保護者さまがいらっしゃいましたら、遠慮なく研究責任者へお申し出ください。今回の調査対象から省かせていただきます。お申し出いただいた場合でも、診療や病院サービスにおいてお子さまおよび保護者さまへの不利益はございません。この研究は2024年6月30日までを予定しており、研究期間終了後は得られた情報は破棄します。

この研究についてご質問などございましたら、下記までお問い合わせください。

連絡先：芳賀赤十字病院小児科 齋藤真理、菊池豊

電話：0285-82-2195 FAX：0285-84-3323



日本赤十字社マスコット
キャラクター ハートラちゃん